

脳卒中連携ネットワークに関する 調査結果について

1

脳卒中連携ネットワークに関する調査の実施 について

経緯

第1回部会において、参加病院に対して「脳卒中連携ネットワーク全体 イメージ図と論点・論点1～5」までを示し、各病院の医療連携に関する取組状況や患者の状況等調査を行うことについて合意を得て下記調査を実施。第2回部会において調査結果の報告を行った。

- ① 脳卒中発症者調査<<論点1関係>>
- ② 長期入院者に関する調査結果<<論点3関係>>
- ③ 医療連携に関するアンケート<<論点2・3関係>>

※本資料のデータについては、部会開催後に提出のあった病院分も反映済みです。

2

脳卒中発症者調査について

調査の趣旨

地域別の脳卒中患者数を明らかにした資料がないことから、患者対応を行っている病院に対して

- ① 圏域内に住所を有する急性期脳卒中患者の入院加療実績
 - ② 急性期脳卒中患者の転院先
- を調査することにより、香取海匠圏域における脳卒中患者数を推計し、中核病院における患者受入の条件の必要性について検討する。

調査を依頼した病院数及び回答数

- ・ 総合病院国保旭中央病院（中核病院）
- ・ 千葉県立佐原病院、国民健康保険小見川総合病院、国保多古中央病院、東庄町国民健康保険 東庄病院、銚子市立病院、（医）積仁会島田総合病院、（医財）みさき会たむら記念病院、国保匝瑳市民病院、九十九里ホーム病院
- ・ 合計10病院に依頼し、10病院全てから回答を得た。

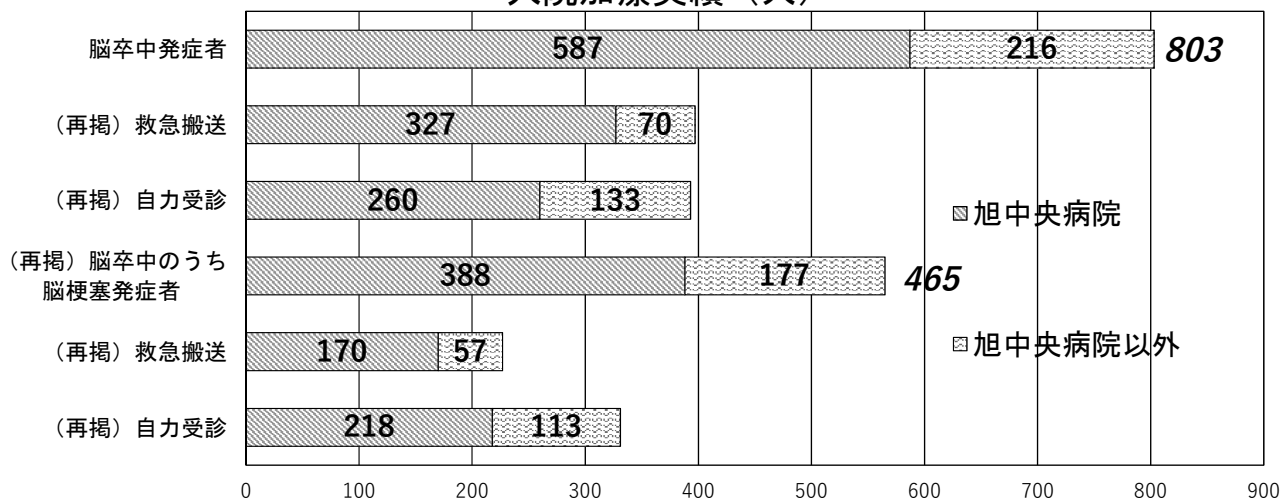
備考

- ・ 香取海匠圏外への転院先割合を調査することより、（旭中央病院への転院患者数と比較することで）圏外へ転院した患者数の概数もある程度把握が可能。

3

脳卒中発症者調査結果①

平成29年度における急性期脳卒中患者の入院加療実績（人）



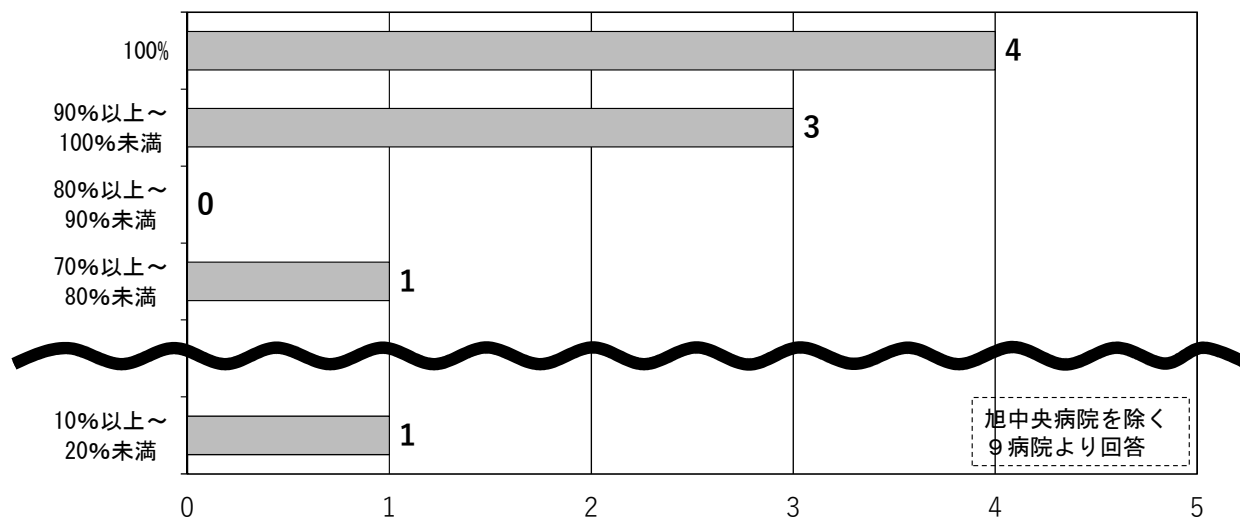
また、以下を考慮すると、圏域内の入院加療を要する脳卒中発症者は900名程度であることが推測される。

- ・ 香取広域市町村圏事務組合消防本部の圏域外（成田市、茨城県など）への搬送実績：69人（平成29年度）
- ・ 圏域内病院から圏域外病院への転院割合から推定した圏域外転院患者数：20人程度

4

脳卒中発症者調査結果②

旭中央病院（香取海匠医療圏内）への転院割合別の病院数



5

長期入院者に関する調査について

調査の趣旨

療養のため長期（6か月以上）に渡って療養病床に入院している患者（長期入院者）の数等の実態を把握することにより、これらを脳卒中連携ネットワークにおける〈長期療養者に対する医療連携〉（論点3）の評価指標として利用し、今後行う対策の評価を行う。

調査を依頼した病院

- ・ 香取海匠地域の療養病床を有する病院
- ・ 合計12病院に依頼し、12病院から回答を得た。

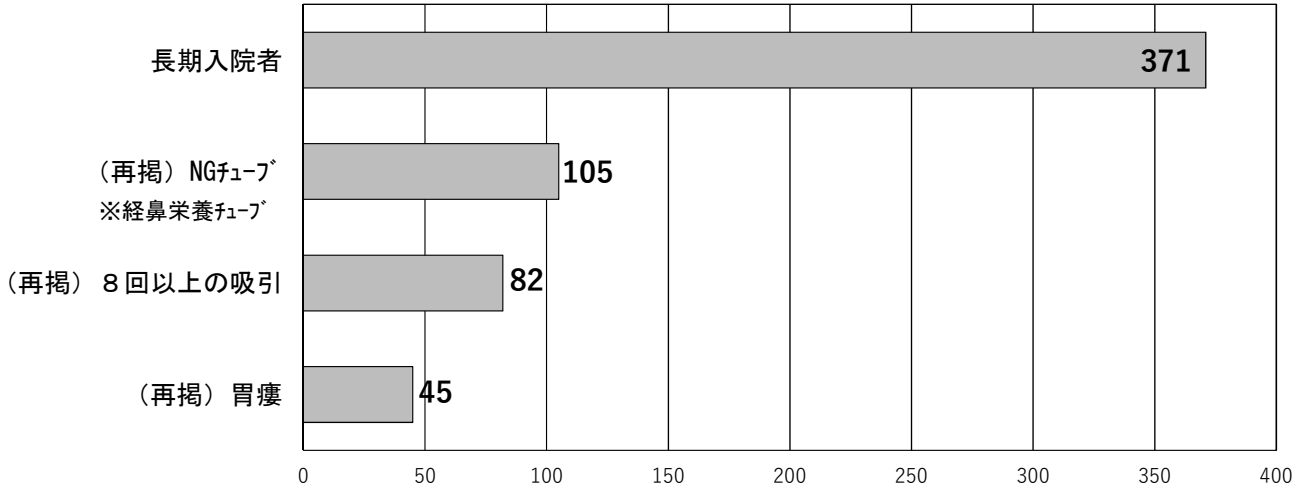
備考

- ・ 長期入院の理由も個別に調査することにより長期療養者に対する医療連携で実施すべき対策についても検討を行う。

6

長期入院者に関する調査結果①

長期入院者（6か月以上在院）の人数及び状況（人）



長期入院者に関する調査結果②

香取海匠地域における長期入院者のうち
医療区分1に該当する患者について

■ ADL3 ■ ADL2 ■ ADL1



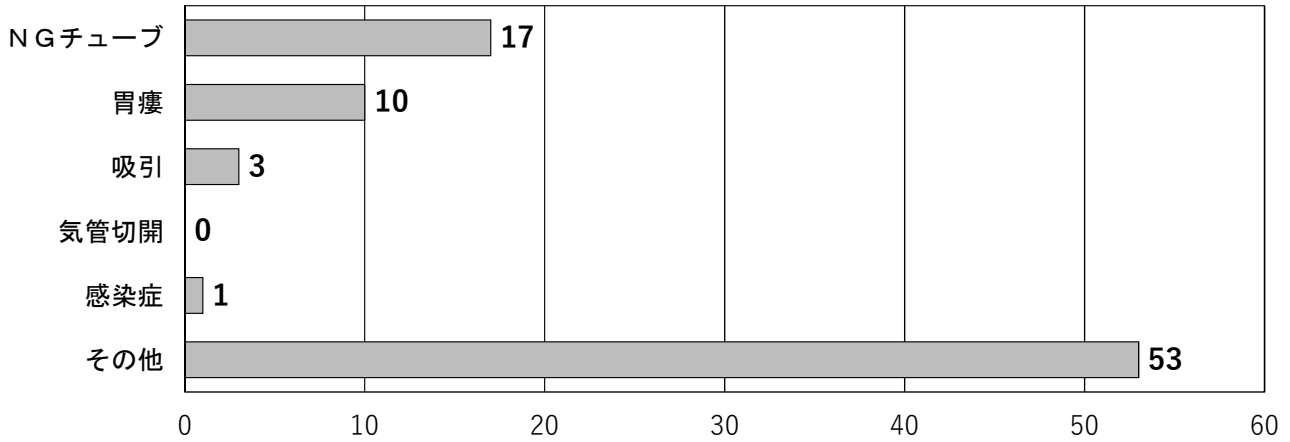
《参考》



※山武長生夷隅・市原圏域に関する調査結果は、各圏域ごとの独自調査によるもの

長期入院者に関する調査結果③

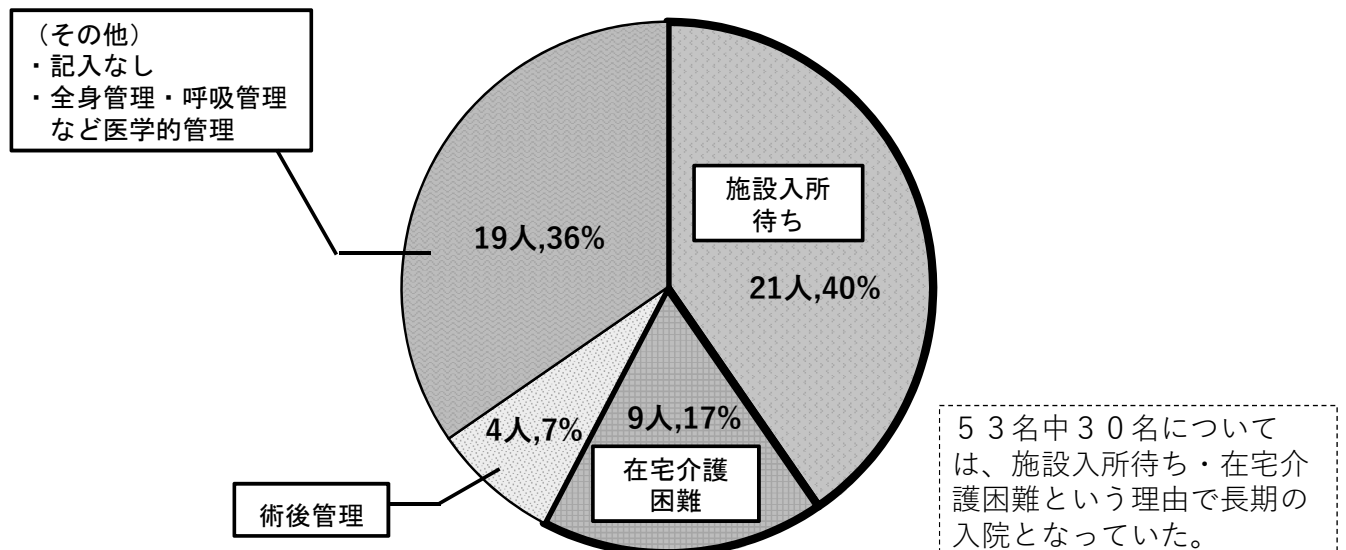
主な長期入院の理由（重複回答可）



※ 長期入院患者で医療区分1に該当する91名のうち、長期入院の理由について回答のあった76名分を集計

長期入院者に関する調査結果④

長期入院の主な理由「その他」の概要について



医療連携に関するアンケートについて

調査の趣旨

脳卒中連携ネットワークの構築に当たって、各病院の取組を把握したり、一般病床を有する病院を対象に実施した病床機能実態把握調査結果（自院分）の印象について調査する。

調査を依頼した病院

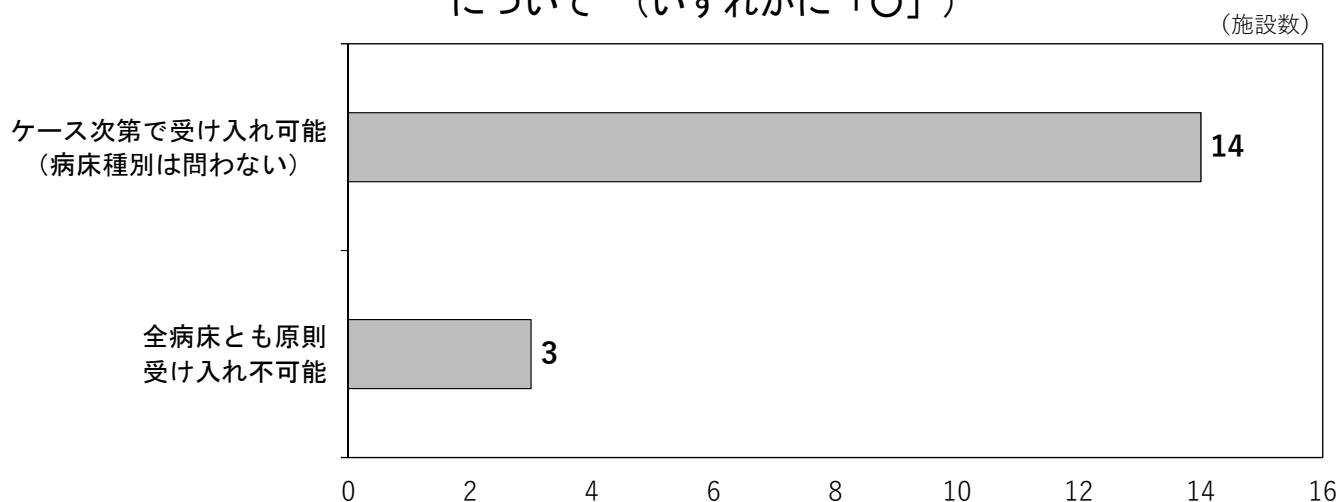
- ・ 香取海匠地域の一般病床・療養病床を有する病院
- ・ 合計 18 病院に依頼し、18 病院から回答を得た。

備考

- ・ 質問 1～3 は、旭中央病院を除く 17 病院に対して質問を行った。
- ・ 質問 4 は、一般病床を有する病院（前回調査に協力）の 13 病院に対して質問を行った。
- ・ 質問 5 は、療養病床を有する 12 病院に対して質問を行った。

医療連携に関するアンケート調査結果①

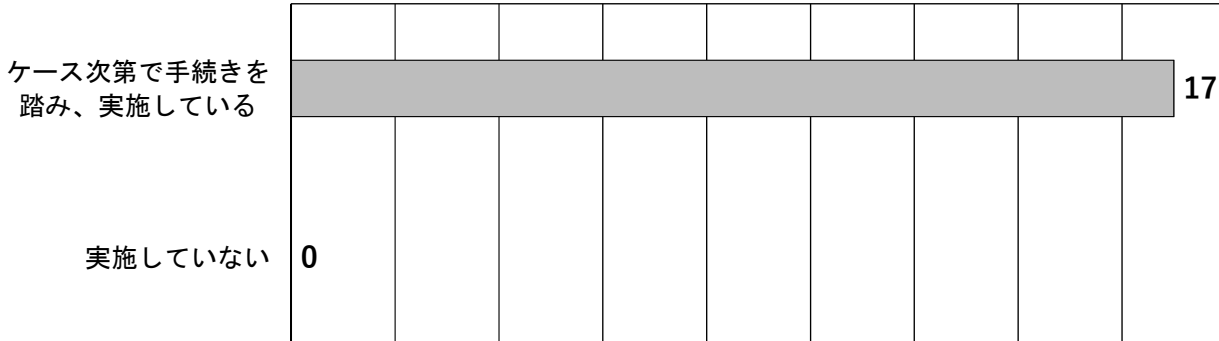
質問 1 早期退院（点滴中）患者の受け入れ状況
について（いずれかに「○」）



医療連携に関するアンケート調査結果②

質問2 患者抑制の対応を実施していますか？
(いずれかに「○」)

(施設数)

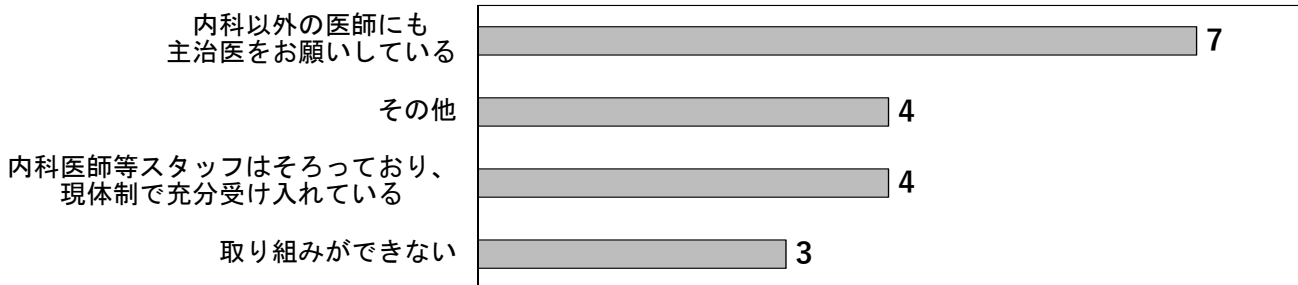


13

医療連携に関するアンケート調査結果③

質問3 急性期以降の脳卒中（脳梗塞含む。）患者の受入れ促進のために取り組んでいることはありますか？
(複数に「○」可)

(施設数)



<その他の概要>

- 脳神経外科医の採用 ・可能な限り受け入れるよう調整
- 医療依存度がなく、介護依存度のみの患者様には可能な限り退院を促し、医療依存度の高い方の受入れができるようベッドコントロールを行う。
- 旭中央病院に早期転院のため、当院からの回診など連携を提案（実現できていない。）

<取組ができない理由>

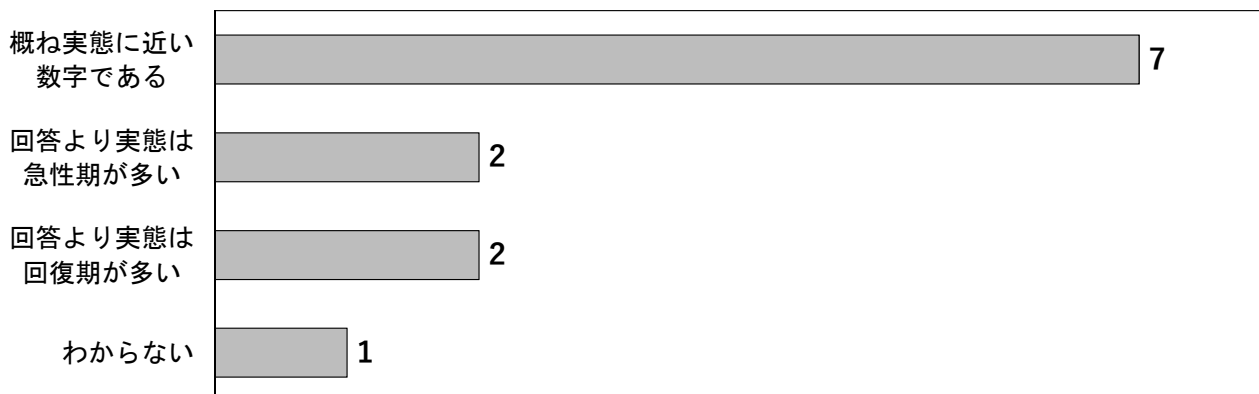
- 理学療法士の不足 ・重症心身障害児（者）施設であるため

14

医療連携に関するアンケート調査結果④

質問4 1回目の病床機能実態調査結果（自院分）
 について、貴院の一般病床の運用態を反映している
 と思いますか？（いずれかに「○」）

（施設数）



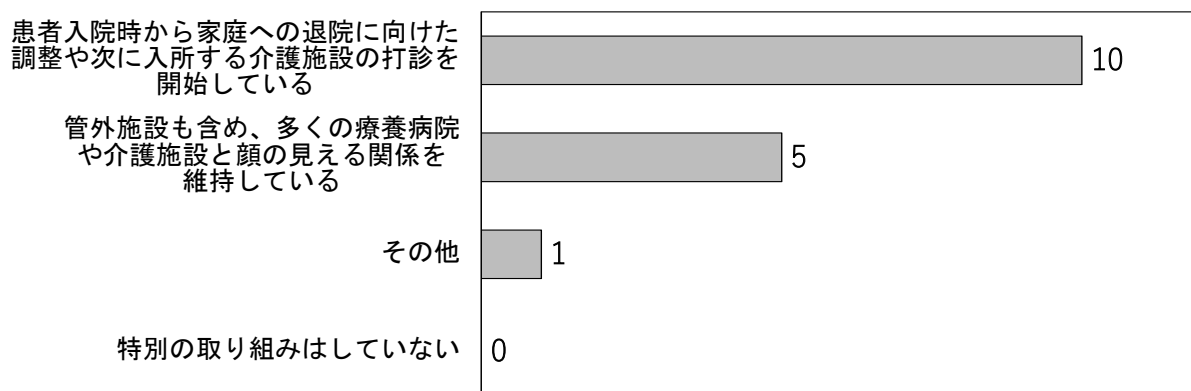
- 1施設は「無回答」
- 半数を超える施設が、調査結果が「概ね実態に近い」と回答しており、前回の香取海匠地域の調査結果についても、地域の実態を概ね表していると言えるのではないか。

15

医療連携に関するアンケート調査結果⑤

質問5 療養病床に入院している患者の地域（施設・在宅）移行を促進
 するために取り組んでいることはありますか？
 （複数に「○」可）

（施設数）



<その他の概要>

- 慢性期・医療依存度の高い方あり、ケースにより相談対応している。

16